



東京金山会通信 No.41

東京金山会 広報担当 (藤山善夫)
☎080-5525-0435
✉fujijyama.d.siren@ae.auone-net.jp

総会「報告集」の編纂について

東京金山会では、総会へ当日参加されなかった方々を含め、会員のみなさまへ総会当日の状況をご報告する目的で、「報告集」と題した小冊子を毎年作成しお送りしています。町長挨拶、会長挨拶の要旨、懇親会などの会場での様子をお伝えする内容となっております、今年9月ごろの発行を予定しています。



▲高橋会長の総会での挨拶



▲懇親会・会場での様子

「夏らしさ」をもとめて

「夏らしさ」をもとめて海へ。湘南・房総半島など、関東近郊には多くの海沿いの観光スポットがあります。隅田川など東京都内の花火大会の多くが今年も中止となる一方、人混みを避けながら、こういった広い海沿いの場所へ足を伸ばす機会が増えたようにも思えます。そのようなスポットを訪れたりしながらも、我々にとって最も「夏らしい」風物詩は、ふるさと金山の夏祭り・花火ではないでしょうか。毎年お盆時期になると、美しい夏の夜空とともに、ふと思い出す風景ですね。



写真は千葉・犬吠埼灯台

No.199 「森の子ども図書コーナー」 交流サロンぽすと内



『おさかなどろぼう』
(いしいひろし/作・絵
PHP研究所)

ねこのトラはおさかなどろぼう。お腹がすくと、おいしいそうなお飯をこっそりちょうだいしています。お昼ご飯はどうしようかな？今日はクマさんが選んだお魚に目をつけました。そっとクマさんの後をつけます。「家に帰ったら手を洗うはず。そのすきにいたいちゃおう！」しかしクマさんは家に帰っても手を洗いません。パイキンだらけの手でお魚を料理されるのが心配で、トラはお医者さんの格好に着替え、「汚れた手で料理をすると、お腹が痛くなっちゃいますよ」…クマさんは慌てて手を洗いにいきました。あれこれとクマさんに世話を焼くトラ。はたしてトラはお魚をゲットできるのかな？



※()内作者名

チコちゃんの素朴なギモン365 (NHK「チコちゃんに叱られる！」制作班) / 13歳からの金融入門(デヴィッド・ピアンキ) / 地球は食べ物 いきもの獲って食べてみた日記 (ホモサビ)

#真相をお話します(結城真一郎) / その本は(又吉直樹/ヨシタケシンスケ) / 入所待ち(あたるしましろうご)

「図書室だより」

中央公民館内 9:00 ▶ 16:00

ある日とつぜん目を覚ました。たまご。そしてある日とつぜん思った。「どうして私はいつまでもこんな風に転がっているんだろ」って。はじめて歩き、はじめて話す。マシユマロをかじって起こし、キッチンのお台を降り、散歩に出かける。シュールな絵柄と、独特のストーリー、だけど大人はドキリとさせられる内容になっています。



『たまごのはなし』
(じおたにまひこ)
／ブロンズ新社

「はじめて人を好きになったときに読む物語」「はじめて家出したときに読む物語」「はじめて容疑者になったときに読む物語」「はじめて告白したときに読む物語」日本を代表する4人の直木賞作家と、小説を音楽にするユニット、YOASOBIが奇跡のコラボレーション！「はじめて」は、いつも痛くて、少し優しい。



『はじめて』
(島本理生/辻村深月/宮部みゆき)
／みゆき/森絵都/水鏡社

今月は6冊!

地域おこし協力隊 通信 No.10

隊員 本間 真生



「合同展示 KIKKAKE 開催しました！」

こんにちは。協力隊の本間で。7月30日〜8月31日にマルコの蔵2階において「合同展示 KIKKAKE」を開催しました。これは、何かを、はじめるきっかけ、出会うきっかけ、発表するきっかけ、など、あらゆる「きっかけ」になることを目的とした合同展示です。計20人が展示制作に関わり、そのうち金山に住んでいる若者が10人。協力隊として去年1年間活動してきて、なかなか金山町の20代と会えなかったのが、こんなにも出会えたのは嬉しかったです。展示したものは、写真・動画・家具・イラスト・小物・言葉など10作品。展示を製作した仲間には、展示することがはじめてな人が多くて、初めての挑戦がいっぱいありました。展示メンバーからは「町のために何かやりたいって思っている若者がこんなにたくさんいることを知ってすごく幸せな町だと思いました」など感想がありました。今回、嬉しいことも大変なことあったけど、開催できて本当によかったです！見に来てくださった皆さん、ご協力いただいた皆さまありがとうございました。



7/30・31は会場でお客さんに作品を紹介しました。当日は160人ほどの方が見に来てくださいました。



Facebookで活動を発信しています！ぜひチェックしてください！

ふんげい

金山杉俳句会報 第四六六回

蝶が来て口づけしたる茄子の花
ペンライト夏の夜空の案内人
都忘れ揺れて微笑む初夏の風
大自然豊かさ表す螢の火
菜園に並ぶ道化師葱坊主
池の面に夕光が映し蟻の聲
紫陽花の毬持上げて通る道
葛桜銀の一匙喉過ぐる
描かれし蟹の大皿涼を呼ぶ
鬼ヤンマ部屋を一周して去りぬ
手折り来し茉莉花の香が部屋に満つ
緑濃きわがふるさと杉の町

かねやま紅風会

命日や仏間賑はす百合の花
雨あとの夏草伸びる野菜畑
疫病や時まで続く夏の虫
雨の報窓に張つく雨蛙
赤や白水辺そ飾る蓮の花
盆真近祖先の御霊に花添へし
夏の夕天を広げて茜雲
白百合の匂ひに誘ふ恋の花
涼風に友の想ひ出懐かしく
夏の月朧に浮かぶ南沢
庭先の紫陽花色増す雨期の朝
沙羅の花三日遅れの旅づかれ
命日や仏間賑はす百合の花
雨あとの夏草伸びる野菜畑
疫病や時まで続く夏の虫
雨の報窓に張つく雨蛙
赤や白水辺そ飾る蓮の花
盆真近祖先の御霊に花添へし
夏の夕天を広げて茜雲
白百合の匂ひに誘ふ恋の花
涼風に友の想ひ出懐かしく
夏の月朧に浮かぶ南沢
庭先の紫陽花色増す雨期の朝
沙羅の花三日遅れの旅づかれ